

エコアクション 21

環境活動レポート

平成 29 年度版

(平成 29 年 5 月～平成 30 年 4 月)



平成 30 年 7 月 12 日

株式会社 アメニティ太宰府

環境方針

株式会社アメニティ太宰府は、一般廃棄物(し尿、ゴミ)収集・運搬において、地域の環境に配慮した収集・運搬業務に心がけ、社員一丸となって、社会貢献、地球環境保全に努めます。

1. し尿・塵芥の運搬車両のエコドライブを実施する等、二酸化炭素の削減に取り組みます。
2. 当社から排出する廃棄物の削減に取り組みます。
3. 節水に取り組みます。
4. 環境保全に関する法規制およびその他要求事項を遵守します。
5. 環境方針を全社員に周知させます。
6. グリーン購入を積極的にすすめます。
7. 行政機関、地域などの環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との調和を図ります。

制定日:平成 20 年 12 月 19 日

改定日:平成 22 年 6 月 4 日

株式会社アメニティ太宰府

代表取締役 永井 武生

1.組織の概要

- (1)事業所名 株式会社アムニティ太宰府
代表者氏名 代表取締役 永井 武生
- (2)所在地 〒818-0119
本社 福岡県太宰府市連歌屋 1 丁目13-1
第 1 駐車場 太宰府市連歌屋 1491-33
第 2 駐車場 太宰府市連歌屋 1491-35
- (3)環境管理責任者 部長 永井 武士
連絡担当者 事務部門 永江 亜矢
連絡先 TEL 092-924-4418
FAX 092-924-4419
E メールアドレス ame@way.ocn.ne.jp
- (4)事業内容 ■太宰府市委託 一般廃棄物収集運搬業
収集区域・・・太宰府市内
一般廃棄物の種類
①可燃ごみ・不燃ごみ・ペットボトル・粗大ごみ
②し尿汲取り
③剪定枝収集運搬(平成 28 年 4 月より開始)
■浄化槽清掃
■ダンボール(事業所付帯業務)

(5)許可一覧

許可内容	許可期間
太宰府市一般廃棄物処理業許可証(許可第 3 号) し尿	平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日
太宰府市浄化槽清掃業許可証(許可第 4 号)	平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日
太宰府市一般廃棄物処理業許可証(許可第 2 号) ごみ	平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日
春日市一般廃棄物収集運搬業許可証(許可第 22 号)	平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日

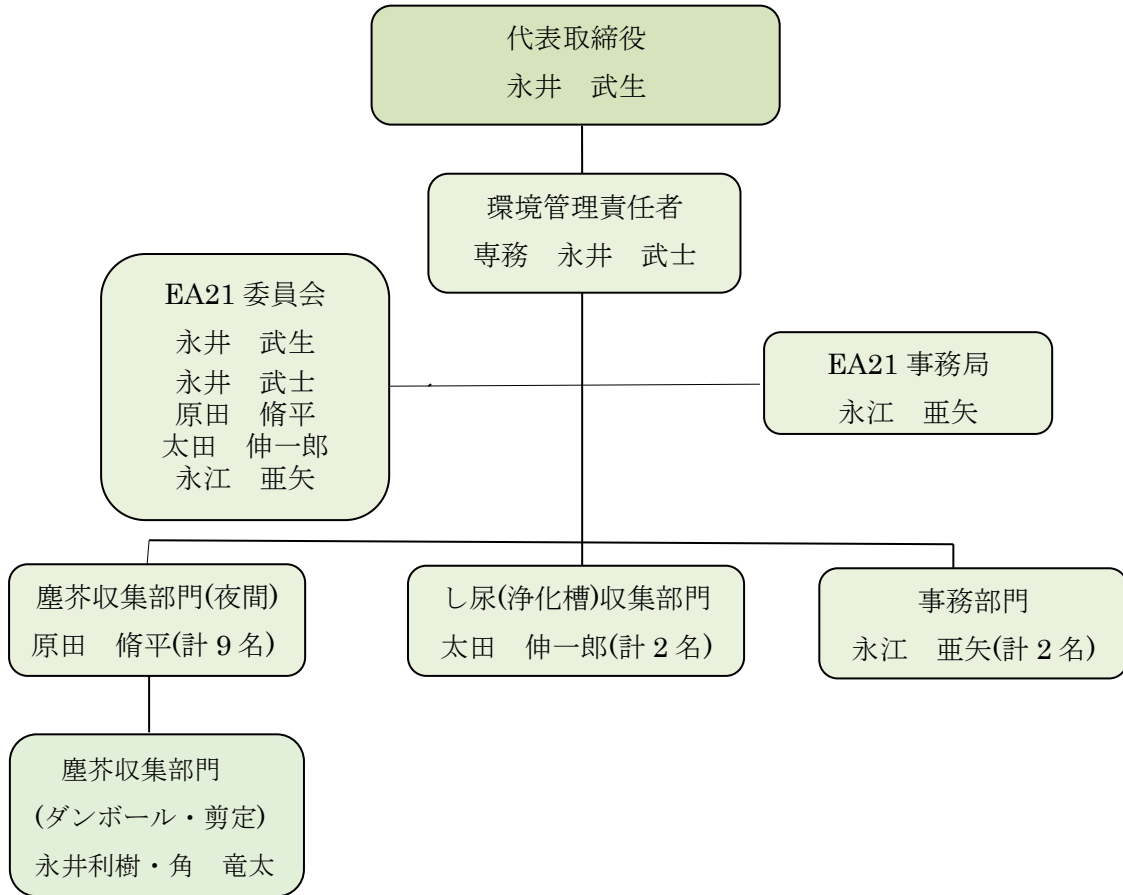
(6)事業の規模

- ・従業員数 16 名
・床面積 412 m² ・第 1 駐車場 23 m² ・第 2 駐車場 511 m²

(7)その他廃棄物処理業関係

- ・設立年月 昭和 51 年 10 月 4 日
・資本金 2,000 万円
・売上高 売上高区分 A(=5 億円未満)

(8)EA21組織図



平成 30 年 1 月末現在

(9)保有車両 4tパッカー車 4 台 / 2tパッカー車 2 台 / 2tトラック 1 台
4tバキューム車 2 台 / 2tバキューム車 1 台
10tバキューム車 1 台

(10)処理実績

平成 29 年度 太宰府市一般廃棄物収集運搬委託業務実績
(平成 29 年 5 月～平成 30 年 4 月)

可燃物(搬入先 クリーンパーク南部)	...	6,297t
不燃物(搬入先 太宰府市環境美化センター)	...	479t
ペットボトル(搬入先 株宮崎)	...	40t
ダンボール (搬入先 株宮崎)	...	349t
し尿(搬入先 両筑衛生社)	...	1,614t
剪定枝(搬入先 大野城環境処理センター)	...	23t

(11)廃棄物処理料金

処理運搬料金につきましては、種類、量によりお見積もり致します。

2.認証・登録の対象範囲

- (1)対象事業所 本社、第1駐車場、第2駐車場
(2)対象活動 一般廃棄物収集運搬業、浄化槽清掃業

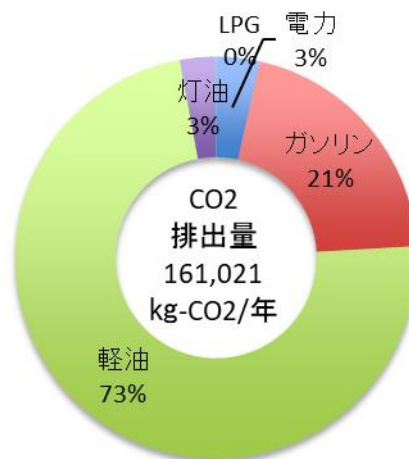
3.当社の環境保全活動の実績

- ・当社は、平成 20 年 12 月よりエコアクション 21 に取り組み、事業活動に伴い発生する環境負荷の削減や地域の環境保全活動への取り組みに参加してきました。
- ・以下に、これまでの活動実績を取りまとめて示します。

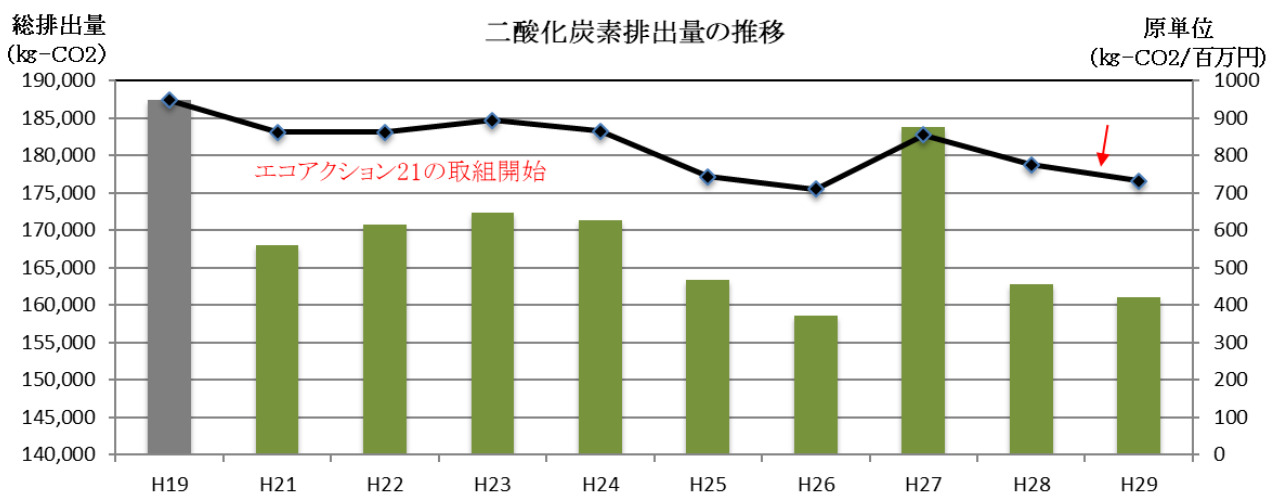
(1) 二酸化炭素排出量の削減

- ・二酸化炭素排出量は、当社の事業活動の最大の環境負荷量であり、収集・運搬車両の燃料使用量（軽油・ガソリン）が 9 割以上を占めています。
- ・エコアクション 21 の取組により、二酸化炭素排出量は事業規模が拡大する中で取組前（平成 19 年度）より約 14%削減、売上高当たりの原単位では約 23%削減しています。

二酸化炭素の排出構造



環境負荷	単位	基準年 H19 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	対基準年削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO2 / 百万円	947	862	862	893	865	743	709	855	755	732	△22.7%
原単位	kg-CO2	187,419	168,015	170,700	172,299	171,287	163,360	158,531	183,824	162,832	161,027	△14.1%



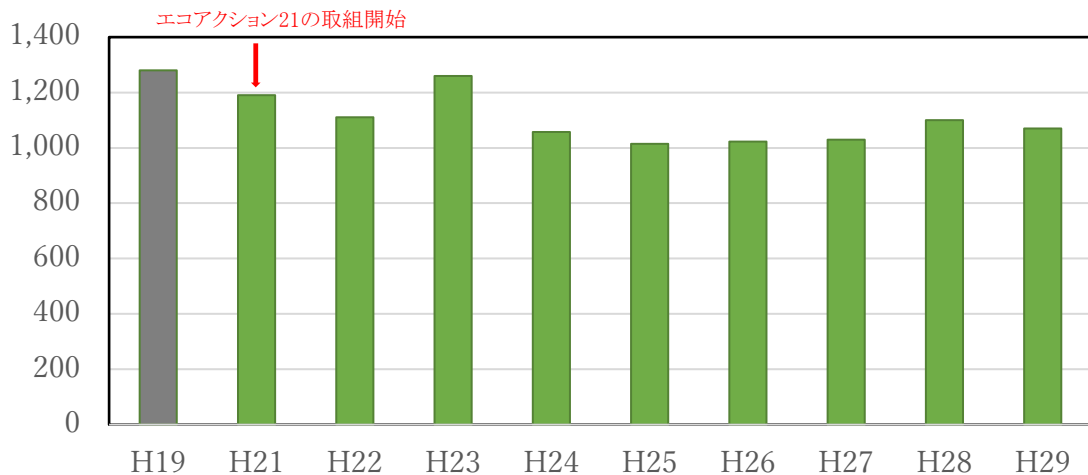
(2) 一般廃棄物排出量の削減

・事務所活動で排出される一般廃棄物量の削減にも取り組み、事業規模が拡大する中で取組前（平成 19 年度）より 16.4%削減しています。

環境負荷	単位	基準年 H19 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	対基準年削減率
一般廃棄物排出量	kg	1,280	1,190	1,110	1,260	1,057	1,015	1,023	1,030	1,100	1,070	△ 16.4%

排出量
(kg)

一般廃棄物排出量の推移



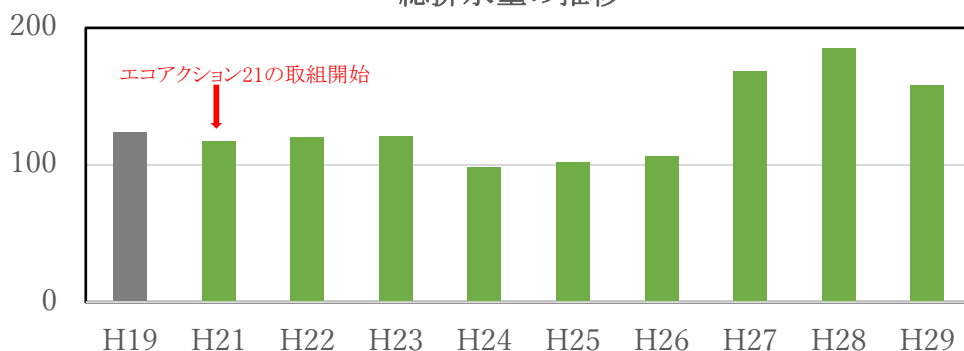
(3) 総排水量の削減

・事業活動で排出される総排水量（地下水）の削減にも取り組みましたが、事業拡大に伴う剪定枝袋洗浄水が増加して、平成 29 年度は取組前（平成 19 年度）より約 27%増加しました。これは、平成 27 年度より剪定枝袋の洗浄再利用を開始したためと考えます。

環境負荷	単位	基準年 H19 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	対基準年削減率
総排水量	m ³	124	117	120	121	98	102	106	168	185	158	+27.4%

排水量(m3)

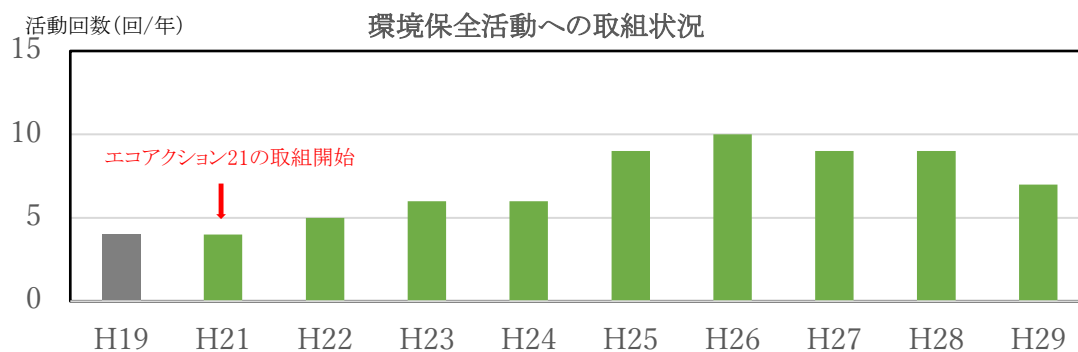
総排水量の推移



(4) 環境保全活動への取組

- ・当社ではエコアクション21の取組の中に、環境保全活動への取組を掲げ、地域のクリーン活動に積極的に参加してきました。

環境負荷	単位	基準年 H19年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	対基準年 増加率
クリーン活動	回	4	4	5	6	6	9	10	9	9	7	+175%



4.環境目標

・平成 29年度の環境目標は、当社の事業活動の環境負荷特性を踏まえて、以下の 5 項目を設定し環境への取組を行いました。

(年度:5月～翌年4月)

環境目標項目		単位	基準年度 平成 25 年 度実績	目標値	
				平成 29 年度	平成 30 年度
1	二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO ₂ /t	20.1	19.4 (△3%)	19.2 (△4%)
2	一般廃棄物 排出量の削減	kg	1,015	974 (△4%)	964 (△5%)
3	総排水量の削減	m ³	128 (H27 年度実績)	125 (△2%)	124 (△3%)
4	環境保全活動への 取組	回数 (クリーン 活動)	9	10	10
5	グリーン購入の推 進	購入品目数	4	6	7

備考)・二酸化炭素排出量算定の購入電力排出係数は、九州電力(株)平成 24 年度実排出係数(0.612 kg-CO₂/kWh)を用いた。

- ・二酸化炭素排出量の目標値は運搬量当たりの原単位で示した。
- ・() は基準年度に対する削減率を示す。
- ・化学物質使用量は事業活動での使用実績がないので目標から除外した。

5.環境活動計画

・平成 29 年度の環境活動計画は、設定した環境目標を達成するために、以下の取組目標と活動項目を定めて取り組みました。

環境目標		取組目標		活動項目		担当者
1	二酸化炭素 排出量の削減	(1)	ガソリン・軽油 使用量の 3%削減	①	燃費確認のための走行距離の確認 (し尿担当)	太田
					燃費確認のための走行距離の確認 (ごみ担当)	原田
				②	エコドライブの実践	原田 太田
				③	法定速度の厳守	原田 太田
				④	急発進、急ブレーキをしない	原田 太田
				⑤	走行ルートの効率化	原田
			⑥	積載量の確認	原田	
		(2)	電気使用量 の 3%削減	①	エアコンの温度設定のチェック	加藤
				②	エアコンフィルターの清掃の実施	永江
				③	不要な照明等のOFF	加藤
④	太陽光発電装置の維持管理、数値 チェック			永江		
2	一般廃棄物 排出量の削減	(1)	事務所から出る廃 棄物の 4%削減	①	新聞、ダンボール等の古紙再生利 用の徹底	永井
				②	ゴミの分別の徹底、記録	永江
				③	ゴミの分別の徹底(剪定)	角
3	総排水量の削減	(1)	洗車、生活排水 の 2%削減	①	洗車等のこまめな蛇口調整	原田 太田
				②	洗い物時の流しっぱなしの禁止	加藤
				③	剪定枝袋洗浄の蛇口調整	角
				④	剪定枝袋洗浄の必要の有無	角
4	環境保全活動 への取組	(1)	クリーン活動 (10 回)	①	会社周辺のゴミ拾い作業の実施	田籠
				②	担当地域でのボランティア清掃への 参加	太田
5	グリーン購入 の推進	(1)	グリーン購入 の推進 (6 品目)	①	グリーン購入を積極的にすすめる	永江

6.環境目標の実績

- ・エコアクション21 を運用した平成29年度における目標に対する実績は次のとおりです。
- ・環境目標 5 項目の内、最大負荷量である二酸化炭素排出量は効率的な節電やガソリン・軽油の使用量の取組により目標を達成できましたが、他の 4 項目は達成できませんでした。
- ・一般廃棄物排出量は目標を僅かに上回り、環境保全活動への取組は目標回数に僅かに及びませんでした。
- ・総排水量は大幅に目標値を上回り実態との差が大きい為、次年度は実態に合った目標値の見直しを行います。

環境目標項目	単位	基準年度 平成 25 年 度実績	平成 29 年度 (H29.5~H30.4)		目標 達成率	目標 達成 の 判定	
			目標値	実績値			
1	二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO ₂ /t	20.1	19.4 (△3%)	18.6 <△7%>	104%	○
		kg-CO ₂	167,441	164,092 (△2%)	161,027 <△4%>	102%	○
取 組 目 標	(1)ガソリン・軽油 使用量の削減	L/t	7.6	7.3 (△3%)	6.7 <△12%>	108%	○
	(2)電気使用量 の削減	kWh/t	2.1	2.0 (△3%)	1.0 <△200%>	150%	◎
2	一般廃棄物 排出量の削減	kg	1,015	974 (△4%)	1,070 <+5%>	91%	△
3	総排水量の削減	m ³	128 (H27 年度 実績)	125 (△1%)	158 <+19%>	79%	×
4	環境保全活動へ の取組	回数 (クリー ン活動)	9	10	9	90%	△
5	グリーン購入の 推進	購入品目 数	4	6	5	83%	×

備考)・< >は基準年度(平成 25 年度実績値)に対する削減率を示す。

・()は、基準年度(平成 25 年度)に対する目標削減率を示す。

・目標達成率の計算

削減目標の場合：実績値÷目標値×100、増加目標の場合：目標値÷実績値×100

・目標達成の判定区分

◎：目標達成率 120%以上、○：100%以上 120%未満、△：80%以上 100%未満、

×：80%未満

7.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

〈1.二酸化炭素排出量の削減〉

- ・平成25年度の結果をもとに環境目標を新たに策定し、平成26年度からは原単位も、売上高より運搬量に変えて、二酸化炭素削減に取り組み、日々、従業員にも二酸化炭素削減につながる活動が定着して、結果として目標を達成できました。さらなる削減に向けて取り組んでいきます。
- ・ガソリン・軽油使用量は増車や剪定枝収集運搬と作業内容は増えたが、ドライブレコーダーの活用やエコドライブの実践で削減することができました。
- ・電気使用量の削減については、太陽光発電導入と、節電活動も徹底でき目標を達成できました。

取組目標		目標達成状況	活動項目		実施状況
(1)	ガソリン・軽油使用量の3%削減	○	①	燃費確認のための走行距離の確認(し尿担当)	○
				燃費確認のための走行距離の確認(ごみ担当)	○
			②	エコドライブの実践	○
			③	法定速度の厳守	○
			④	急発進、急ブレーキをしない	○
			⑤	走行ルート効率化	○
(2)	電気使用量の3%削減	◎	⑥	積載量確認	○
			①	エアコンの温度設定のチェック	○
			②	エアコンフィルターの清掃の実施	○
			③	不要な照明等のOFF	○
④	太陽光発電装置の維持管理、数値チェック	○			

〈2.一般廃棄物量排出量の削減〉

- ・分別を徹底して廃棄物削減を目指してきたが、目標を達成できませんでした。

取組目標		目標達成状況	活動項目		実施状況
(1)	事務所から出る廃棄物の4%削減	△	①	新聞、ダンボール等の古紙再生利用の徹底	○
			②	ゴミの分別の徹底、記録	△
			③	ゴミの分別の徹底(剪定)	○

〈3.総排水量の削減〉

- ・平成28年度より環境目標を見直し、削減に向けて取り組んできました。
- ・洗車や剪定袋の洗浄の際の蛇口調整など、節水活動を徹底してきましたが、今年度は回収剪定袋が増えたため大幅に排水量が増えてしまい、目標達成には至りませんでした。

取組目標		目標達成状況	活動項目		実施状況
(1)	洗車、生活排水の2%削減	×	①	洗車等のこまめな蛇口調整	△
			②	洗い物時の流しっぱなしの禁止	△
			③	剪定枝袋洗浄の蛇口調整	△
			④	剪定枝袋洗浄の必要の有無	△

〈4.環境保全活動への取組〉

- ・定期的な会社周辺のクリーン活動、担当区域のボランティア清掃の参加ができていますが目標達成には至りませんでした。

取組目標		目標達成状況	活動項目		実施状況
(1)	クリーン活動 (10回)	△	①	会社周辺のゴミ拾い作業の実施	○
			②	担当地域でのボランティア清掃への参加	○

〈5.グリーン購入の推進〉

- ・グリーン購入を積極的に進めてきましたが、目標達成には至りませんでした。

取組目標		目標達成状況	活動項目		実施状況
(1)	グリーン購入の推進 (6品目)	×	①	グリーン購入を積極的にすすめる	○

〈6.次年度の取組内容〉

- ・次年度は、平成29年度の取組目標を継続しつつ、目標達成を目指していきたい。
また、新たに社員教育の推進という環境目標をおき取り組んでいきたい。

8.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

法 律 名 等	主な遵守事項	遵守確認
太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	許可書の確認、収集運搬条件の遵守確認	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	許可書の確認、処理基準の遵守確認	○
水質汚濁防止法	事故の有無の確認	○
浄化槽法	許可書の確認、	○
悪臭防止法	規制基準の遵守、事故の有無の確認	○
自動車リサイクル法	自動車の点検	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の状況確認	○
道路交通法	法定速度。積載量の確認	○
フロン排出抑制	簡易定期点検の実施	○

○:遵守 ×:不遵守 -:該当なし

9.代表者による取組状況の評価及び見直しの結果

(1)取組状況の評価

- ・本年度は、二酸化炭素排出量削減の目標は達成できましたが、前年度同様、排水量、廃棄物量については取組を徹底したものの、目標達成には至りませんでした。
- ・環境への取組は、全従業員が日々真剣に適切に実施されており、達成出来ないときは、その都度話し合い是正処置をとり対処してきました。
今後もこうした取組をより一層周知徹底させていきます。

(2)見直し結果

- ・取組を周知徹底させるために環境方針、環境目標に社員教育の推進の項目を追加して、人材育成の向上をはかり、全項目での目標達成を目指していきます。
- ・平成29年度の結果を全社員に報告し、来年度の目標に向かって周知しました。

(株)アメニティ太宰府

代表取締役 永井 武生